



2022 年 2 月 14 日

2021 年度 決算レポート

2021 年実績（対 2020 年）

- ・ 売上収益は 11.1%増の 2 兆 3,248 億円
- ・ 為替一定調整後営業利益は 22.9%増の 5,984 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 25.4%増の 6,104 億円
- ・ 営業利益は 6.4%増の 4,990 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益は 9.1%増の 3,385 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 219 億円減の 4,820 億円
- ・ 年間一株当たり配当金は 140 円を予定（配当性向 73.4%）

2022 年見込（対 2021 年）

- ・ 売上収益は 0.4%減の 2 兆 3,150 億円
- ・ 為替一定 core revenue¹については 0.1%減の 2 兆 2,290 億円
- ・ 為替一定調整後営業利益は 4.0%増の 6,350 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は 0.1%増の 6,110 億円
- ・ 営業利益は 7.0%増の 5,340 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する当期利益は 5.2%増の 3,560 億円
- ・ フリー・キャッシュ・フローは 1,400 億円減の 3,420 億円を見込む
- ・ 年間一株当たり配当金は 150 円を予定（配当性向 74.8%）

財務数値の詳細については P.18「データシート」をご参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

“2021 年の JT グループの実績は、たばこ事業のモメンタムにけん引され、非常に力強いものとなりました。お客様を全ての取り組みの起点とするコンシューマーセントリックの考えに加え、卓越したブランドポートフォリオにより、多くの市場でシェアも伸長し、海外たばこ事業の販売数量は過去最高を記録しました。また、新型コロナウイルス感染拡大においても、最優先投資対象である HTS (heated tobacco sticks²) カテゴリの新製品である Ploom X の日本市場への投入、本年 1 月から順調なスタートを切った国内外たばこ事業の事業運営体制の一本化に向け実施した各種施策等、将来の成長に必要な取り組みを着実に実施した 1 年となりました。

今後も、中長期に亘り為替一定調整後営業利益の年平均 mid to high single digit の成長を目指していくことに変わりはありません。成長に向け、最も重要となるのが、RRP カテゴリにおけるプレゼンスの拡大です。将来の事業成長の柱と位置付けている RRP の中でも最優先投資対象である HTS カテゴリについては、2027 年末までに、key HTS markets³において 10%台半ばのカテゴリシェアを獲得するとともに、これを通じて RRP ビジネスの黒字化⁴を目指してまいります。この目標の達成に向けて事業投資を優先するものの、今次経営計画期間中においても、為替一定調整後営

¹ 前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・

その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

² Heated tobacco sticks: 高温加熱型の加熱式たばこ

³ 日本、ロシア、英国、イタリア

⁴ グローバル市場（既存の展開市場及び現時点で展開を計画している市場）を前提

業利益の mid single digit の成長を実現できる見通しです。また、当期利益についても伸長させていく計画としており、株主還元についても、還元方針に沿って着実に強化していきたいと考えております。

サステナビリティ分野においても、本日のリリースのとおり、JT グループ環境計画 2030 で掲げた目標を更新し、2050 年までにバリューチェーン全体における温室効果ガス排出量のネットゼロ実現を目指します。また、持続的な成長の実現に向け、新体制下において、事業基盤をより強固なものとし、よりアジャイルかつコンシューマーセントリックな組織へ進化してまいります。”

投資家説明会

投資家説明会は、2022年2月15日、東京時間 17時00分より行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。(<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>)

超インフレ会計適用及びハイパーインフレーションに伴う調整について

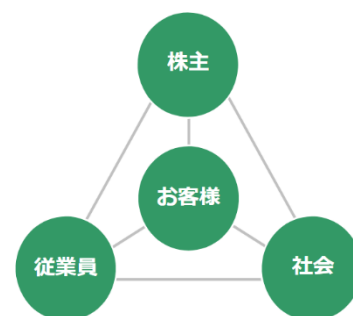
当社グループは、2020 年度第3 四半期よりIAS 第29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021 年度実績及び2022年度見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの2021年度実績は、2021 年度第1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

経営計画 2022

経営 理念

4Sモデルの追求：

お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく



中長期 成長率目標

全社調整後営業利益 年平均成長率（為替一定）

Mid to high single digit

-今次経営計画期間中の見立て(2022-2024年)：RRPへの投資を強化するものの、年平均成長率はmid single digitを想定

経営資源 配分方針

4Sモデルに基づく経営資源配分

- 中長期に亘る持続的な利益成長に繋がる事業投資¹を最優先
- 事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視

株主還元方針

- 強固な財務基盤²を維持しつつ、中長期の利益成長を実現することにより株主還元の向上を目指す
- 資本市場における競争力ある水準³として、配当性向75%を目安⁴とする
- 自己株式の取得は当該年度における財務状況及び中期的な資金需要等を踏まえて実施の是非を検討

1 たばこ事業の成長投資を最重要視し、質の高いトップライン成長を通じた為替一定調整後営業利益の成長を目指す

2 経済危機等に備えた堅牢性、及び機動的な事業投資等への柔軟性を担保

3 ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているグローバルFMCG（Fast Moving Consumer Goods）企業群の還元動向をモニタリング

4 ±5%程度の範囲内で判断

2021 年度 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2020 年度	2021 年度	増減率
売上収益	5,005	5,588	+11.6%	20,926	23,248	+11.1%
調整後営業利益	454	675	+48.7%	4,870	6,104	+25.4%
営業利益	789	183	-76.8%	4,691	4,990	+6.4%
四半期/当期利益（親会社所有者帰属）	523	-3	-	3,103	3,385	+9.1%
為替一定ベース 調整後営業利益	454	604	+32.9%	4,870	5,984	+22.9%

2021 年 10-12 月

• 売上収益

売上収益については、国内たばこ事業及び加工食品事業での減収を海外たばこ事業及び医薬事業の増収が上回り、前年同期比 11.6%増の 5,588 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、国内たばこ事業及び医薬事業において減少したものの、海外たばこ事業及び加工食品事業での増加により、前年同期比 32.9%増の 604 億円となりました。
財務報告ベースでは、海外たばこ事業において為替影響がポジティブに作用したことにより、前年同期比 48.7%増の 675 億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、調整後営業利益が増加したものの、たばこ事業運営体制強化施策費用の計上及び 2020 年度に計上した旧 JT ビルの売却を主因とした不動産売却益の剥落等により、前年同期比 76.8%減の 183 億円となりました。

• 親会社の所有者に帰属する四半期利益

四半期利益は、営業利益の減益により、前年同期比 526 億円減の 3 億円の損失となりました。

2021 年度

• 売上収益

売上収益については、加工食品事業での減収を海外たばこ事業、国内たばこ事業及び医薬事業の増収が上回り、前年度比 11.1%増の 2 兆 3,248 億円となりました。

• 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、医薬事業において減少したものの、海外たばこ事業、国内たばこ事業及び加工食品事業での増加により、前年度比 22.9%増の 5,984 億円となりました。
財務報告ベースでは、海外たばこ事業において為替影響がポジティブに作用したことにより、前年度比 25.4%増の 6,104 億円となりました。

• 営業利益

営業利益については、たばこ事業運営体制強化施策費用の計上及び 2020 年度に計上した旧 JT ビルの売却を主因とした不動産売却益の剥落等があったものの、調整後営業利益が増加したことにより、前年度比 6.4%増の 4,990 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する当期利益**

当期利益は、営業利益の増益及び金融損益の改善により、前年度比 9.1%増の 3,385 億円となりました。

当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2020 年度	2021 年度	増減率
総販売数量	1,057	1,113	+5.3%	4,357	4,602	+5.6%
GFB 販売数量	687	765	+11.3%	2,820	3,117	+10.5%
自社たばこ製品売上収益 ¹	2,943	3,553	+20.7%	12,508	14,821	+18.5%
調整後営業利益 ¹	261	554	+112.4%	3,409	4,544	+33.3%
参考：ドルベース（百万ドル）						
自社たばこ製品売上収益 ¹	2,824	3,109	+10.1% (+7.1%*)	11,724	13,468	+14.9% (+10.6%*)
調整後営業利益 ¹	252	484	+91.8% (+82.7%*)	3,181	4,157	+30.7% (+29.6%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2021 年 10-12 月

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、前年同期比 5.3%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、3 か月平均市場シェアの伸長により、前年同期比 2.5%の増加となりました。市場シェアは、フランス・イタリア・スペイン・トルコ・英国といった主要市場に加え、ブラジル・カナダ・チェコ・ドイツ・イラン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア・ウクライナ等の様々な市場で伸長しています。GFB 販売数量は、主にイラン・ポーランド・トルコにおけるウinstonの伸長（+11.3%）、ロシア・スペイン・トルコを中心としたキャメル伸長（+25.4%）及びメビウスの伸長（+7.1%）により、前年同期比 11.3%の増加となりました。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、ポジティブな単価差/商品構成影響、販売数量の増加及び為替影響により、前年同期比それぞれ 20.7%、112.4%の増加となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、カナダ・フィリピン・ロシア・トルコ等の市場で発現した単価差/商品構成影響+128 百万ドル及び数量差影響+73 百万ドルにより、前年同期と比べ 7.1%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、単価差/商品構成影響+136 百万ドル、数量差影響+34 百万ドル及び前年同期において一時的な要因により製造原価が増加していたことにより、前年同期比 82.7%の増加となりました。なお、heated tobacco sticks に対する継続的な投資は実行しています。

2021 年度

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、前年度比 5.6%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、市場シェアの伸長、特に上期における複数市場での渡航者数の減少及び不法取引の減少による内需の拡大により、前年度比 4.6%の増加となりました。市場シェアは、全ての主要市場に加え、主にブラジル・カナダ・チェコ・ドイツ・ハンガリー・カザフスタン・フィリピン・ポーランド・ルーマニア・シンガポール・スイス・ウクライナ等の様々な市場で伸長しています。GFB 販売数量は、ウinston（+10.1%）、キャメル（+24.1%）が二桁成長を実現したことにより、前年度比で 10.5%の増加となりました。

• **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益¹**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、数量差影響、単価差/商品構成影響及び為替影響がそれぞれポジティブに作用したことにより、前年度と比べそれぞれ 18.5%、33.3%の増加となりました。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+554 百万ドル及びカナダ・カザフスタン・フィリピン・ロシア・台湾・トルコ・ウクライナ等の市場で発現した単価差/商品構成影響+690 百万ドルにより、前年度と比べ 10.6%の増加となりました。ドルベースの為替一定調整後営業利益については、単価差/商品構成影響+663 百万ドル及び数量差影響+359 百万ドルにより、前年度比 29.6%の増加となりました。

**海外たばこ事業
クラスター別 四半期実績**

South and West Europe

(億本、百万ドル)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率
総販売数量	145	152	+4.9%
GFB 販売数量	122	130	+6.2%
自社たばこ製品売上収益	453	473	+4.3 % (+8.1 %*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• **販売数量及び市場シェア²**

総販売数量は、前年同期と比べ 4.9%の増加となりました。スペイン等を中心にポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、複数市場におけるシェアの伸長により、前年同期と比べ 2.0%の増加となりました。3 ヶ月平均市場シェアは、ベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・ルクセンブルク・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。GFB 販売数量は、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年同期と比べ 6.2%の増加となりました。2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度比でそれぞれ 4.2%、5.7%の増加となりました。

• **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、スペインを中心に発現した数量差影響+26 百万ドル及び単価差/商品構成影響+11 百万ドルにより、前年同期と比べ 4.3%の増加となりました。為替影響▲17 百万ドルを除いた場合、前年同期比 8.1%の増加となりました。2021 年度の累計自社たばこ製品売上収益は、前年度比 8.9%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年度比 4.7%の増加となりました。

• **市場別実績²**

フランスにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアが伸長(+0.7 パーセントポイント)したものの、総需要が減少したことにより、前年同期比 10.8%の減少となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 5.7%、4.2%、16.3%減少しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。2021 年度の累計総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年度比でそれぞれ 1.4%、0.3%、6.5%の減少となりました。市場シェアは、ウィンストン及びキャメルが牽引し、前年度と比べ 1.8 パーセントポイント増の 28.9%となりました。

イタリアにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアが伸長(+1.0 パーセントポイント)したことにより、前年同期比 3.9%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 1.2%、3.2%、0.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響により、前年同期と比べ減少しました。2021 年度の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut

の販売数量は、前年度と比べそれぞれ 3.7%、3.0%、5.9%、1.5%の増加となりました。市場シェアは、ウinston が牽引し、前年度と比べ 0.9 パーセントポイント増の 26.7%となりました。

スペインにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3 か月平均市場シェアの伸長(+1.1 パーセントポイント)により、前年同期比 10.5%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 25.2%、26.0%、25.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。2021 年度の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年度と比べそれぞれ 7.0%、5.5%、7.7%、7.6%の増加となりました。市場シェアは、ウinston 及びキャメルが牽引し、前年度と比べ 1.1 パーセントポイント増の 27.8%となりました。

North and Central Europe

(億本、百万ドル)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率
総販売数量	159	164	+2.9%
GFB 販売数量	84	94	+11.5%
自社たばこ製品売上収益	664	631	-4.9% (-4.1%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

販売数量及び市場シェア²

総販売数量及び GFB 販売数量は、ポーランドを中心とした複数市場におけるシェアの伸長により、前年同期と比べそれぞれ 2.9%、11.5%の増加となりました。3 か月平均市場シェアは、チェコ・ドイツ・ハンガリー・ポーランド・英国において伸長しました。

2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度比でそれぞれ 7.1%、13.7%の増加となりました。

自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、英国等を中心に発現した単価差/商品構成影響▲29 百万ドルがドイツ・ポーランド等を中心に発現した数量差影響+2 百万ドルを上回ったことにより、前年同期比 4.9%の減少となりました。為替影響▲6 百万ドルを除いた場合、前年同期比 4.1%の減少となりました。

2021 年度の累計自社たばこ製品売上収益は、前年度比 11.7%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年度 5.7%の増加となりました。

市場別実績²

ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、3 か月平均市場シェアの伸長(+0.7 パーセントポイント)により、前年同期と比べそれぞれ 4.9%、5.1%、1.2%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。2021 年度の累計総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は、前年度と比べそれぞれ 6.4%、6.7%、3.5%の増加となりました。市場シェアは、ウinston 及びキャメルが牽引し、前年度と比べ 0.7 パーセントポイント増の 9.7%となりました。

英国における総販売数量及び Fine Cut の販売数量は、3 か月平均市場シェアが伸長(+0.3 パーセントポイント)したものの、総需要が減少したことにより、前年同期と比べそれぞれ 3.4%、4.1%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ減少しました。2021 年度の累計総販売数量及び Fine cut の販売数量は、前年度と比べそれぞれ 4.2%、6.4%の増加となりました。市場シェアは、紙巻たばこにおけるベンソン&ヘッジス及び Fine Cut におけるスターリングが牽引し、前年度と比べ 0.8 パーセントポイント増の 45.8%となりました。

CIS+

(億本、百万ドル)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率
総販売数量	293	298	+1.5%
GFB 販売数量	200	218	+8.7%
自社たばこ製品売上収益	625	729	+16.7% (+14.0%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

総販売数量は、前年同期と比べ 1.5%の増加となりました。ロシアを中心にポジティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期と比べ 7.2%の減少となりました。3 ヶ月平均市場シェアは、アゼルバイジャン・ルーマニア・セルビア・ウクライナで伸長しました。GFB 販売数量は、主にキャメルが牽引したことにより、前年同期と比べ 8.7%の増加となりました。

2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度比でそれぞれ 3.3%、9.6%の増加となりました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、数量差影響+3 百万ドル及びカザフスタン・ロシア等を中心に発現した単価差/商品構成影響+84 百万ドルにより、前年同期比 16.7%の増加となりました。為替影響+17 百万ドルを除いた場合、前年同期比 14.0%の増加となりました。

2021 年度の累計自社たばこ製品売上収益は、前年度比 13.1%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年度 14.8%の増加となりました。

• 市場別実績²

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、3 ヶ月平均市場シェアは伸長(+0.2 パーセントポイント)したもの、総需要が減少したことにより、前年同期と比べそれぞれ 3.2%、5.8%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期と比べ減少しました。2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度比それぞれ 4.6%、2.4%増加しました。市場シェアは、ウィンストン、キャメル及びソプラニーが牽引し、前年度と比べ 0.7 パーセントポイント増の 29.8%になりました。

ロシア³における流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要⁴の減少及び 3 ヶ月平均市場シェアの減少により、前年同期と比べ 8.6%の減少となりました。なお、総需要⁴は、前年同期と比べ 5.9%減少したものと推定しています。前年同期にネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、キャメルの伸長により、前年同期と比べそれぞれ 6.3%、21.3%の増加となりました。Ploom の heated tobacco sticks カテゴリ内 3 ヶ月平均市場シェアは、これまでの継続的な投資の実行により、1.2 パーセントポイント伸長し、3.8%になりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度と比べそれぞれ 5.1%、18.2%増加しました。流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年度と比べ 0.2%減少しました。市場シェアは、キャメル、LD 及びソプラニーが牽引し、前年度と比べ 0.4 パーセントポイント増の 36.7%になりました。

Rest-of-the-World

(億本、百万ドル)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率
総販売数量	460	500	+8.6%
GFB 販売数量	281	324	+15.4%
自社たばこ製品売上収益 ¹	1,082	1,276	+17.9% (+9.6%*)

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア²

流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、3ヵ月平均市場シェアの伸長により、前年同期と比べ8.8%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、ウinston キヤメル、メビウス及び LD の伸長により、前年同期と比べそれぞれ 8.6%、15.4%の増加となりました。3ヵ月平均市場シェアは、アルジェリア・ブラジル・カンボジア・カナダ・イラン・モロッコ・フィリピン・サウジアラビア・シンガポール・韓国・トルコで特に伸長しました。

2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度比でそれぞれ 7.2%、12.7%の増加となりました。

• 自社たばこ製品売上収益¹

自社たばこ製品売上収益は、カナダ・フィリピン・トルコ等を中心に発現した単価差/商品構成影響+62 百万ドル及びイラン等を中心に発現した数量差影響+42 百万ドルにより、前年同期比 17.9%の増加となりました。為替影響+90 百万ドルを除いた場合、前年同期比 9.6%の増加となりました。

2021 年度の累計自社たばこ製品売上収益は、前年度比 20.6%の増加となりました。為替影響を除いた場合、前年度 13.6%の増加となりました。

• 市場別実績²

イランにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要の増加及び 3ヵ月平均市場シェアの伸長(+2.0 パーセントポイント)により、前年同期と比べ 26.2%の増加となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 25.9%、36.9%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響により、前年同期と比べ増加しました。2021 年度の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度と比べそれぞれ 13.8%、21.5%の増加となりました。市場シェアは、キヤメルが牽引し、前年度と比べ 0.7 パーセントポイント増の 60.1%になりました。

台湾における総販売数量及び流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要が減少したこと及び 3ヵ月平均市場シェアが減少したことにより、前年同期と比べそれぞれ 4.3%、3.7%の減少となりました。GFB 販売数量は、前年同期と比べ 4.8%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響がポジティブな単価差/商品構成影響を上回ったことにより、前年同期と比べ減少しました。2021 年度の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年度と比べそれぞれ 0.3%、0.6%、1.1%の減少となりました。市場シェアは、主にメビウスが牽引し、前年度と比べ 0.3 パーセントポイント増の 48.1%になりました。

トルコにおける流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、総需要が増加したこと及び 3ヵ月平均市場シェアの伸長(+0.9 パーセントポイント)により、前年同期と比べ 21.0%の増加となりました。ポジティブに作用した流通在庫調整の影響を含めた総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期と比べそれぞれ 21.3%、21.7%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量差影響及び単価差/商品構成影響により、前年同期と比べ増加しました。2021 年度の累計総販売数量、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量、GFB 販売数量は、前年度と比べそれぞれ 15.1%、15.6%、15.8%の増加となりました。市場シェアは、ウinston が牽引し、前年度と比べ 1.1 パーセントポイント増の 27.7%になりました。

¹ 当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの 2021 年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021 年度第 1 四半期から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

² 出典：IRI、Logista、Nielsen、Panel Strator 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2021 年 12 月末時点の 12 か月移動平均及び 3 か月平均ベースで、対象は紙巻たばこ及び Fine Cut。スヌースを除く。また、ハンガリーに関するデータは 2021 年 11 月末時点の 12 か月移動平均及び 2 か月平均ベース。12 か月移動平均及び 3 か月平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 か月移動平均及び 3 か月平均ベース。

³ 2021 年第 1 四半期より、ロシアにおける販売数量及び市場シェアは、紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を含みます。これに伴い 2020 年データについても同様に変更しています。

⁴ 出典：JTI 内部データ。紙巻たばこ及び heated tobacco sticks を対象とする 2021 年 10-12 月期の対前年同期比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2020 年度	2021 年度	増減率
Combustible 総需要	249	231	-7.3%	1,149	1,053	-8.4%
Combustible 販売数量	147	132	-10.0%	687	622	-9.5%
自社たばこ製品売上収益	1,209	1,146	-5.3%	5,157	5,198	+0.8%
調整後営業利益	291	204	-30.0%	1,681	1,824	+8.6%

2021 年 10-12 月

• Combustible 販売数量

Combustible 総需要は、趨勢減に加え、RRP カテゴリの拡大及び 2021 年 10 月の定価改定等の影響により、前年同期比 7.3%の減少となりました。

当社の combustible 販売数量は、総需要の減少に加え、combustible シェア⁵の減少により、前年同期比 10.0%の減少となりました。

当社の combustible シェア⁵については、RRP 製品への移行及びダウントレーディングによる低価格帯での競争激化により、前年同期比 1.8 パーセントポイント減の 57.3%となりました。

• RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP 総需要は、前年同期比 11 億本増の 107 億本となり、市場占有率は 31.7%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 3 億本増の 13 億本となりました。出荷ベースの当社の RRP カテゴリ内シェア⁵は 11.8%と推計しています。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、combustible 販売数量の減少影響▲106 億円が、combustible 単価上昇効果+33 億円及び RRP 関連売上収益の増加等を上回ったことにより、前年同期比 5.3%の減収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量が増加したことにより、前年同期比 3 億円増の 136 億円となっております。

調整後営業利益は、combustible 販売数量の減少影響▲90 億円が、combustible 単価上昇効果+33 億円を上回ったことにより、前年同期比 30.0%の減益となりました。

2021 年度

• Combustible 販売数量

Combustible 総需要は、趨勢減に加え、RRP カテゴリの拡大及び定価改定等の影響により、前年度と比べ 8.4%の減少となりました。

当社の combustible 販売数量は、combustible 総需要の減少に加え、combustible シェア⁵の減少により、前年度比 9.5%の減少となりました。

当社の combustible シェア⁵については、RRP 製品への移行及びダウントレーディングによる低価格帯での競争激化により、前年度比 0.7 パーセントポイント減の 59.1%となりました。

• RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP 総需要は、前年度比 49 億本増の 451 億本となり、市場占有率は 30.0%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年度比 7 億本増の 46 億本となりました。出荷ベースの当社の RRP カテゴリ内シェア⁵は 10.3%と推計しています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、combustible 単価上昇効果+428 億円及び RRP 関連売上収益の増加が、combustible 販売数量の減少影響▲425 億円等を上回ったことにより、前年度比 0.8%の増収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加により、前年度比 40 億円増の 598 億円となっております。調整後営業利益は、combustible 販売数量の減少影響▲356 億円があったものの、combustible 単価上昇効果+428 億円、RRP 関連売上収益の増加により、前年度比 8.6%の増益となりました。なお、Ploom X への投資は着実に実施しております。

⁵ 出典：JT 推計。当社公表の combustible 総需要及び combustible シェアには、RMC に加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2020 年度	2021 年度	増減率
売上収益	214	236	+10.2%	790	804	+1.8%
調整後営業利益	45	45	-1.1%	172	111	-35.4%

2021 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、前年同期比 10.2%の増収となりました。
調整後営業利益は、売上収益の増収があったものの、研究開発費や鳥居薬品における販管費の増加により、前年同期比ほぼ同水準となりました。

2021 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、鳥居薬品の増収が海外ロイヤリティ収入の減少を上回り、前年度比 1.8%の増収となりました。
調整後営業利益は、研究開発費や鳥居薬品における販管費の増加により、前年度比 35.4%の減益となりました。

加工食品事業

(億円)	2020 年 10-12 月	2021 年 10-12 月	増減率	2020 年度	2021 年度	増減率
売上収益	408	406	-0.4%	1,493	1,472	-1.4%
調整後営業利益	-16	16	—	-8	40	—

2021 年 10-12 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温及び調味料事業における外食向け製品の販売減少があったものの、ベーカリー事業における販売の回復により、前年同期比ほぼ同水準となりました。
調整後営業利益は、前年同期に計上したベーカリー事業における減損損失の剥落により、前年同期比 32 億円増となりました。

2021 年度

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、前年において一時的に増加した冷食・常温事業における家庭用製品の需要が相対的に減少したことや、冷食・常温事業及び調味料事業における外食向け製品の販売減少により、前年度比 1.4%の減収となりました。
調整後営業利益は、前年に計上したベーカリー事業における減損損失の剥落及び販管費低減等により、前年度比 47 億円増となりました。

2022 年度 全社及び事業別見込

全社見込

(億円)	2021 年実績	2022 年見込	増減率
売上収益	23,248	23,150	-0.4%
調整後営業利益	6,104	6,110	+0.1%
営業利益	4,990	5,340	+7.0%
当期利益（親会社所有者帰属）	3,385	3,560	+5.2%
フリー・キャッシュ・フロー	4,820	3,420	-
為替一定ベース core revenue ⁶	22,317	22,290	-0.1%
為替一定ベース 調整後営業利益	6,104	6,350	+4.0%
基本的 EPS（円）*	190.76	200.62	+5.2%

*基本的 EPS は当期利益を基に算定

- 売上収益**
 財務報告ベース売上収益については、医薬事業及び加工食品事業の増収はあるものの、たばこ事業の減収により、前年度比 0.4%減の 2 兆 3,150 億円を見込んでいます。なお、為替影響は、売上収益に対してややネガティブに作用するものと想定しています。
- 調整後営業利益**
 為替一定ベース調整後営業利益は、医薬事業及び加工食品事業の減少はあるものの、たばこ事業の増加により、前年度比 4.0%増の 6,350 億円を見込んでいます。
 財務報告ベース調整後営業利益については、たばこ事業におけるネガティブな為替影響はあるものの、前年度比 0.1%増の 6,110 億円を見込んでいます。
- 営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**
 営業利益については、2021 年度に計上したたばこ事業運営体制強化施策費用の剥落等を主因として、前年度比 7.0%増の 5,340 億円を見込んでいます。
 当期利益については、金融損益の悪化を見込むものの、営業利益の増加により、前年度比 5.2%増の 3,560 億円を見込んでいます。
- フリー・キャッシュ・フロー**
 フリー・キャッシュ・フローについては、たばこ事業運営体制強化施策費用の支払いによる影響及び運転資本の悪化等を主因として、前年度比 1,400 億円減の 3,420 億円を見込んでいます。

当社グループは、2020 年第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。

⁶ 前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません

事業別見込

たばこ事業

たばこ事業の一本化に伴い、2021 年度まで国内たばこ事業、海外たばこ事業各々についてお示していた業績見込みについて、2022 年度からは一本化したたばこ事業としてお示しています。

(億円)	2021 年実績	2022 年見込	増減率
自社たばこ製品売上収益 ⁷	20,020	19,860	-0.8% (-0.5%)*
調整後営業利益 ⁷	6,392	6,400	+0.1% (+3.9%)*

*為替一定円ベース 対前年度増減率

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益⁷**

自社たばこ製品売上収益は、combustibles⁸におけるポジティブな単価差/商品構成影響、シェアの伸長及び、限定的ではあるものの RRP 関連売上収益⁹についても伸長を見込む一方、販売数量の減少を見込むことから、前年度に比べて 0.8%の減少を見込んでいます。為替一定ベース¹⁰ 自社たばこ製品売上収益については、前年度比 0.5%の減少を見込んでいます。

調整後営業利益は、Ploom X の地理的拡大に向けた投資及び日本市場における heated tobacco sticks のマーケティング投資が増加するものの、combustibles⁸における単価上昇効果及び競争力強化施策による効果の発現により、前年度に比べて 0.1%の増加を見込んでいます。為替一定ベース¹⁰ 調整後営業利益については、前年度比 3.9%の増加を見込んでいます。

- **販売数量**

総販売数量は、シェアの伸長及び RRP 販売数量¹¹の増加を見込むものの、combustible 総需要¹²の減少及び新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限等の影響が徐々に改善されることにより、上期において前年との不利な比較が生じる見立てであることから、前年度比 3%程度の減少を見込んでいます。

⁷ 当社グループは、2020 年度第 3 四半期より IAS 第 29 号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます

⁸ 製造受託/水たばこ/加熱式たばこ/無煙たばこ/E-Vapor を除く可燃性のたばこ製品

⁹ 自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Products の売上

¹⁰ 前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない

¹¹ Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMCとして換算）。デバイス/関連アクセサリ等は含まない

¹² JT 推計。市場全体における combustibles の本数ベースの市場規模

医薬事業

(億円)	2021 年実績	2022 年見込	増減率
売上収益	804	815	+1.4%
調整後営業利益	111	100	-9.9%

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少はあるものの、鳥居薬品の増収及び導出品に係る一時金収入の増加を織り込み、前年度比 1.4%の増収となる 815 億円を見込んでいます。

調整後営業利益は、鳥居薬品における販管費の増加により、前年度比 9.9%の減益となる 100 億円を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2021 年実績	2022 年見込	増減率
売上収益	1,472	1,530	+3.9%
調整後営業利益	40	25	-36.8%

- 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、冷食・常温及び調味料事業における外食向け製品ならびにベーカリー事業における販売が回復していく見立てや冷食・常温事業における家庭用製品の伸長、価格改定効果を反映し、前年度比 3.9%の増収となる 1,530 億円を見込んでいます。

調整後営業利益については、売上収益の増加はあるものの、原材料費の高騰を織り込み、前年度比 36.8%の減益となる 25 億円を見込んでいます。

データシート

2021年度 実績

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
売上収益	20,926	23,248	+2,323	+11.1%
営業利益	4,691	4,990	+300	+6.4%
調整後営業利益	4,870	6,104	+1,235	+25.4%
税引前利益	4,201	4,724	+523	+12.5%
当期利益	3,120	3,402	+282	+9.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,103	3,385	+282	+9.1%
一株当たり配当金(円)	154	140	-14	-9.1%
基本的EPS* (円)	174.88	190.76	+15.88	+9.1%
ROE*	12.0%	12.7%	0.7ppt	

*親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	4,870	5,984	+1,115	+22.9%

2. 事業セグメント別実績

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
売上収益	20,926	23,248	+2,323	+11.1%
国内たばこ事業	5,556	5,594	+39	+0.7%
自社たばこ製品売上収益	5,157	5,198	+41	+0.8%
海外たばこ事業	13,062	15,357	+2,294	+17.6%
自社たばこ製品売上収益	12,508	14,821	+2,313	+18.5%
医薬事業	790	804	+14	+1.8%
加工食品事業	1,493	1,472	-21	-1.4%
その他	25	21	-4	-16.0%
全社 営業利益	4,691	4,990	+300	+6.4%
国内たばこ事業	1,518	1,255	-263	-17.3%
海外たばこ事業	2,964	3,945	+980	+33.1%
医薬事業	165	113	-52	-31.5%
加工食品事業	-8	29	+38	-
その他/消去	51	-352	-403	-
調整合計	-179	-1,114	-935	
国内たばこ事業	-162	-569	-407	
海外たばこ事業	-444	-599	-155	
医薬事業	-7	2	+9	
加工食品事業	-0	-10	-10	
その他/消去	435	62	-373	
全社 調整後営業利益	4,870	6,104	+1,235	+25.4%
国内たばこ事業	1,681	1,824	+144	+8.6%
海外たばこ事業	3,409	4,544	+1,135	+33.3%
医薬事業	172	111	-61	-35.4%
加工食品事業	-8	40	+47	-
その他/消去	-384	-414	-31	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,724	13,468	+1,743	+14.9%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,724	12,969	+1,245	+10.6%
調整後営業利益	3,181	4,157	+975	+30.7%
為替一定調整後営業利益	3,181	4,123	+942	+29.6%

2021年度 実績

3. 事業セグメント別調整後営業利益（調整表）

（単位：億円）

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
全社 営業利益	4,691	4,990	+300	+6.4%
調整合計	179	1,114	+935	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	632	689	+57	
調整項目(収益)	-520	-115	+405	
調整項目(費用)	67	540	+473	
全社 調整後営業利益	4,870	6,104	+1,235	+25.4%
国内たばこ 営業利益	1,518	1,255	-263	-17.3%
調整合計	162	569	+407	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	162	162	-	
調整項目(収益)	-	-10	-10	
調整項目(費用)	-	417	+417	
国内たばこ 調整後営業利益	1,681	1,824	+144	+8.6%
海外たばこ 営業利益	2,964	3,945	+980	+33.1%
調整合計	444	599	+155	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	469	526	+57	
調整項目(収益)	-58	-34	+24	
調整項目(費用)	33	107	+74	
海外たばこ 調整後営業利益	3,409	4,544	+1,135	+33.3%
医薬 営業利益	165	113	-52	-31.5%
調整合計	7	-2	-9	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-2	-2	-1	
調整項目(費用)	8	-	-8	
医薬 調整後営業利益	172	111	-61	-35.4%
加工食品 営業利益	-8	29	+38	-
調整合計	0	10	+10	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-0	-1	-1	
調整項目(費用)	0	12	+11	
加工食品 調整後営業利益	-8	40	+47	-
その他/消去 営業利益	51	-352	-403	-
調整合計	-435	-62	+373	
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	-	-	-	
調整項目(収益)	-461	-67	+393	
調整項目(費用)	26	5	-20	
その他/消去 調整後営業利益	-384	-414	-31	-

4. 減価償却費及び償却費*

（単位：億円）

	2020 累計	2021 累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	1,600	1,669	+69
国内たばこ事業	529	498	-32
海外たばこ事業	937	1,045	+108
医薬事業	50	49	-1
加工食品事業	67	62	-5
その他/消去	16	15	-2

*リース取引に係る減価償却費を除く

5. 連結財政状態データ

（単位：億円）

	2020年12月末	2021年12月末	増減
資産合計	53,814	57,742	+3,928
資本合計	25,995	28,861	+2,866
親会社の所有者に帰属する持分	25,228	28,093	+2,864
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,421.92	1,583.10	+161.18

2021年度 実績

6. 手元流動性及び有利子負債

(単位：億円)

	2020年12月末	2021年12月末	増減
手元流動性	5,483	7,302	+1,819
有利子負債	9,589	9,186	-403

7. 連結キャッシュフロー・データ

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減
営業キャッシュフロー	5,198	5,989	+791
投資キャッシュフロー	54	-975	-1,029
財務キャッシュフロー	-2,974	-3,531	-557
現金及び現金同等物の期首残高	3,572	5,388	+1,817
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-461	346	+807
現金及び現金同等物の期末残高	5,388	7,217	+1,829
FCF	5,039	4,820	-219

8. 資本的支出

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減
資本的支出	1,129	1,009	-120
国内たばこ事業	211	200	-10
海外たばこ事業	666	625	-41
医薬事業	91	60	-31
加工食品事業	80	107	+28
その他/消去	82	17	-65

9. 為替

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
USドル/円	106.76	109.90	+3.14	2.9%安
USドル/RUB	72.07	73.66	+1.59	2.2%安
USドル/GBP	0.78	0.73	-0.05	7.3%高
USドル/EUR	0.88	0.85	-0.03	3.8%高
USドル/CHF	0.94	0.91	-0.03	2.8%高
USドル/TWD	29.47	27.94	-1.53	5.5%高
USドル/TRY	7.01	8.84	+1.83	20.7%安
USドル/IRR*	258,747	247,776	-10,971	4.4%高

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*IAS第29号に定められる要件に従い、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSドルへ換算する際には、2020年12月末日及び2021年12月末日レートを適用。

また、USドルから日本円へ換算する際も同様のレートを適用。(2020年12月末日 USドル/円：103.50、2021年12月末日 USドル/円：115.02)

10. 医薬事業

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
研究開発費	252	290	+38	+15.0%

2021年度 実績

11. P/L 内訳表

(単位：億円)

	2020 累計	2021 累計	増減	増減率
売上収益	20,926	23,248	+2,323	+11.1%
売上原価	8,980	9,569	+589	+6.6%
売上総利益	11,946	13,680	+1,734	+14.5%
その他の営業収益	549	156	-393	-71.6%
持分法による投資利益	40	40	-0	-1.1%
販売費及び一般管理費等	7,845	8,886	+1,041	+13.3%
広告宣伝費	273	293	+20	+7.5%
販売促進費	921	1,087	+165	+17.9%
委託手数料	576	669	+93	+16.1%
従業員給付費用	3,072	3,550	+478	+15.6%
研究開発費	608	650	+42	+6.9%
減価償却費及び償却費	1,037	1,090	+53	+5.1%
減損損失	126	228	+102	+81.1%
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	76	58	-18	-23.1%
その他	1,156	1,262	+106	+9.2%
営業利益	4,691	4,990	+300	+6.4%
買収に伴い生じた無形資産に係る償却費	632	689	+57	
調整項目(収益)	-520	-115	+405	
調整項目(費用)	67	540	+473	
調整後営業利益	4,870	6,104	+1,235	+25.4%
金融収益	124	190	+67	+53.9%
配当収入	9	9	0	+0.8%
利息収入	64	124	+60	+94.6%
為替差益	-	-	-	-
その他	50	56	+6	+12.0%
金融費用	613	456	-157	-25.6%
利息費用	225	231	+5	+2.3%
退職給付費用	22	23	+2	+7.8%
為替差損	358	156	-202	-56.5%
その他	8	47	+39	+467.7%
税引前当期利益	4,201	4,724	+523	+12.5%
法人所得税費用	1,080	1,322	+242	+22.4%
当期利益	3,120	3,402	+282	+9.0%
親会社の所有者	3,103	3,385	+282	+9.1%
非支配持分	18	17	-1	-4.7%

2021年度 実績

12. B/S 内訳表

(単位：億円)

	2020年12月末	2021年12月末	増減
流動資産	20,039	23,213	+3,174
現金及び現金同等物	5,388	7,217	+1,829
営業債権及びその他の債権	4,121	4,566	+444
棚卸資産	5,398	5,632	+234
その他の金融資産※1	188	173	-16
その他の流動資産	4,940	5,620	+680
売却目的で保有する非流動資産	3	5	+2
非流動資産	33,775	34,529	+755
有形固定資産	7,593	7,558	-34
のれん※2	19,094	20,610	+1,516
無形資産※3	3,636	3,072	-565
投資不動産	47	50	+2
退職給付に係る資産	705	532	-174
持分法で会計処理されている投資	402	417	+15
その他の金融資産※1	1,071	1,087	+15
繰延税金資産	1,225	1,204	-21
資産合計	53,814	57,742	+3,928

(単位：億円)

	2020年12月末	2021年12月末	増減
流動負債	13,238	15,003	+1,765
営業債務及びその他の債務	4,365	5,558	+1,192
社債及び借入金※4	1,415	1,429	+14
未払法人所得税等	465	308	-157
その他の金融負債※4	276	283	+8
引当金	194	249	+54
その他の流動負債※5	6,523	7,177	+653
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	-	-	-
非流動負債	14,581	13,878	-703
社債及び借入金※4	8,174	7,757	-417
その他の金融負債※4	502	439	-63
退職給付に係る負債	3,318	2,962	-356
引当金	313	229	-85
その他の非流動負債※5	1,630	1,792	+162
繰延税金負債	644	700	+55
負債合計	27,819	28,881	+1,062
資本	25,995	28,861	+2,866
資本金	1,000	1,000	-
資本剰余金	7,364	7,364	-
自己株式	-4,915	-4,909	+6
その他の資本の構成要素	-6,058	-4,001	+2,057
利益剰余金	27,837	28,638	+801
非支配持分	767	768	+2
負債及び資本合計	53,814	57,742	+3,928

※1：その他の金融資産（流動・非流動の計）

その他の金融資産	1,260	1,259	-1
デリバティブ資産	86	74	-12
株式	267	278	+11
債券	188	216	+28
定期預金	9	13	+3
その他	768	743	-26
貸倒引当金	-59	-64	-5

※2：のれん

国内たばこ資金生成単位	2,659	2,659	-
海外たばこ資金生成単位	16,181	17,697	+1,516
加工食品資金生成単位	254	254	-

※3：無形資産

国内たばこ事業 商標権	821	656	-165
海外たばこ事業 商標権	2,052	1,697	-356

※4：社債及び借入金（その他の金融負債含む）（流動・非流動の計）

社債及び借入金	10,366	9,908	-458
デリバティブ負債	103	109	+6
短期借入金	516	706	+190
コマーシャル・ペーパー	-	-	-
1年内返済予定の長期借入金	122	423	+300
1年内償還予定の社債	776	300	-476
長期借入金	1,927	1,547	-380
社債	6,247	6,210	-37
その他	674	613	-61

※5：その他の負債（流動・非流動の計）

その他の負債	8,153	8,968	+816
未払たばこ税	2,686	2,952	+266
未払たばこ税特別税	85	83	-2
未払地方たばこ税	1,589	1,744	+155
未払消費税等	1,298	1,342	+44
従業員賞与	570	695	+125
従業員有給休暇債務	203	211	+8
その他	1,722	1,942	+220

**2022年度見込
(2022/2/14公表)**

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2021 実績	2022 見込	増減	増減率
売上収益	23,248	23,150	-98	-0.4%
営業利益	4,990	5,340	+350	+7.0%
調整後営業利益	6,104	6,110	+6	+0.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,385	3,560	+175	+5.2%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2021 実績	2022 見込	増減	増減率
為替一定 core revenue*	22,317	22,290	-27	-0.1%
為替一定調整後営業利益	6,104	6,350	+246	+4.0%

*前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートをを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益＋医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではありません。

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2021 実績	2022 見込	増減	増減率
基本的EPS*	190.76	200.62	+9.86	+5.2%
1株当たり配当金	140	150	+10	+7.1%
ROE*	12.7%	12.5%	-0.2ppt	

*基本的EPS/ROEは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2021 実績	2022 見込	増減	増減率
売上収益	23,248	23,150	-98	-0.4%
たばこ事業	20,951	20,780	-171	-0.8%
自社たばこ製品売上収益*	20,020	19,860	-160	-0.8%
医薬事業	804	815	+11	+1.4%
加工食品事業	1,472	1,530	+58	+3.9%
その他	21	25	+4	+20.3%
全社 営業利益	4,990	5,340	+350	+7.0%
たばこ事業	5,224	5,720	+496	+9.5%
医薬事業	113	100	-13	-11.5%
加工食品事業	29	20	-9	-31.7%
その他/消去	-376	-500	-124	-
全社 調整後営業利益	6,104	6,110	+6	+0.1%
たばこ事業	6,392	6,400	+8	+0.1%
医薬事業	111	100	-11	-9.9%
加工食品事業	40	25	-15	-36.8%
その他/消去	-439	-415	+24	-

*物流事業／製造受託等を除く売上収益。

2022年度見込
(2022/2/14公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2021 実績	2022 見込	増減
FCF	4,820	3,420	-1,400

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2021 実績	2022 見込	増減
資本的支出	1,009	1,310	+301
たばこ事業	825	1,060	+235
医薬事業	60	30	-30
加工食品事業	107	125	+18
その他/消去	17	95	+78

6. 業績予想の主な前提条件

○ たばこ事業

- ・ 2022年の総販売数量*：対前年で3%程度の減少(2021年の総販売数量は5,288億本)
- ・ 2022年のGFB販売数量**：対前年で2%程度の減少(2021年のGFB販売数量は3,558億本)

*水たばこ／製造受託／RRPデバイス及び関連アクセサリを除くたばこ製品の販売数量

**GFB (Global Flagship Brands) に含まれるWinston、Camel、MEVIUS、LDのRMC製品の販売数量

<為替前提レート>

	2021 実績	2022 見込	増減	増減率
100円/USD	0.91	0.88	-0.03	3.8%高
100円/RUB	67.10	70.20	+3.10	4.4%安
100円/GBP	0.66	0.64	-0.02	3.4%高
100円/EUR	0.77	0.76	-0.01	1.3%高
100円/CHF	0.83	0.80	-0.03	4.0%高
100円/TWD	25.45	24.55	-0.90	3.7%高
100円/TRY	8.02	13.15	+5.13	39.0%安
100円/PHP	44.85	45.60	+0.75	1.6%安

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー（累計）

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。

	2020 Q4	2021 Q4	増減	増減率	
総販売数量	4,357	4,602	+245	+5.6%	億本
GFB販売数量	2,820	3,117	+297	+10.5%	億本
自社たばこ製品売上収益	12,508	14,821	+2,313	+18.5%	億円
調整後営業利益	3,409	4,544	+1,135	+33.3%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	11,724	13,468	+1,743	+14.9%	百万ドル
調整後営業利益	3,181	4,157	+975	+30.7%	百万ドル
為替一定ベース					
自社たばこ製品売上収益	11,724	12,969	+1,245	+10.6%	百万ドル
調整後営業利益	3,181	4,123	+942	+29.6%	百万ドル

・クラスター別構成（前年同期比）

(億本/百万ドル)

財務報告ベース

2021	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益		調整後営業利益	
SWE	691	+4.2%	588	+5.7%	2,236	+8.9%	762	+23.6%
NCE	679	+7.1%	379	+13.7%	2,848	+11.7%	1,178	+16.7%
CIS+	1,262	+3.3%	907	+9.6%	3,116	+13.1%	1,083	+19.9%
RoW	1,970	+7.2%	1,243	+12.7%	5,268	+20.6%	1,134	+73.9%
Total	4,602		3,117		13,468		4,157	

為替一定ベース

2021	自社たばこ製品売上収益		調整後営業利益	
SWE	2,148	+4.7%	698	+13.3%
NCE	2,695	+5.7%	1,066	+5.6%
CIS+	3,164	+14.8%	1,188	+31.5%
RoW	4,963	+13.6%	1,170	+79.6%
Total	12,969		4,123	

2. クラスター/市場別 総販売数量（前年同期比）

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+2.0%	+14.5%	-3.4%	+4.9%	+4.2%
France	+16.6%	-4.3%	-11.2%	-5.7%	-1.4%
Italy	-6.0%	+16.4%	+5.0%	+1.2%	+3.7%
Spain	-8.8%	+41.4%	-14.9%	+25.2%	+7.0%
NCE	+11.6%	+12.4%	+2.6%	+2.9%	+7.1%
Germany	+13.7%	+0.9%	+6.9%	+4.9%	+6.4%
UK	+9.4%	+7.3%	+4.1%	-3.4%	+4.2%
CIS+	+8.8%	+3.1%	+0.6%	+1.5%	+3.3%
Romania	+2.2%	+18.2%	+2.8%	-3.2%	+4.6%
Russia*	+16.5%	-0.5%	+1.1%	+6.3%	+5.1%
RoW	+3.7%	+12.9%	+4.0%	+8.6%	+7.2%
Iran	+3.1%	+16.1%	+11.1%	+25.9%	+13.8%
Taiwan	+12.7%	+1.0%	-8.7%	-4.3%	-0.3%
Turkey	+0.4%	+26.2%	+13.0%	+21.3%	+15.1%
Total	+5.8%	+10.1%	+1.7%	+5.3%	+5.6%

*2021年Q1より、ロシアにおける販売数量は、combustibles及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い2020年データについても同様に変更しています。

3. ブランド別 GFB販売数量（前年同期比）

(億本)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	412	448	461	431	1,752
	+9.4%	+14.5%	+5.8%	+11.3%	+10.1%
Camel	160	181	184	181	706
	+11.4%	+39.3%	+21.7%	+25.4%	+24.1%
MEVIUS	40	40	40	39	159
	+1.2%	+9.9%	-2.0%	+7.1%	+3.8%
LD	124	130	132	115	501
	+7.9%	-0.6%	-6.9%	-4.2%	-1.3%

たばこ事業データ

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+4.8%	+16.5%	-3.5%	+6.2%	+5.7%
France	+19.2%	-4.7%	-10.1%	-4.2%	-0.3%
Italy	-5.3%	+21.0%	+6.9%	+3.2%	+5.9%
Spain	-4.6%	+42.7%	-18.7%	+26.0%	+7.7%
NCE	+18.1%	+20.2%	+6.6%	+11.5%	+13.7%
Germany	+14.5%	+0.9%	+7.4%	+5.1%	+6.7%
UK	-12.4%	+0.5%	-13.8%	-8.2%	-8.3%
CIS+	+14.1%	+7.4%	+9.0%	+8.7%	+9.6%
Romania	+0.9%	+14.7%	+1.3%	-5.8%	+2.4%
Russia	+29.9%	+8.2%	+16.8%	+21.3%	+18.2%
RoW	+5.6%	+21.9%	+8.9%	+15.4%	+12.7%
Iran	+6.8%	+24.1%	+18.9%	+36.9%	+21.5%
Taiwan	+10.4%	+0.5%	-8.9%	-4.8%	-1.1%
Turkey	+1.3%	+26.5%	+14.0%	+21.7%	+15.8%
Total	+9.1%	+16.1%	+6.2%	+11.3%	+10.5%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均				
	2020 12月	2021 12月	増減	2020 Q4	2021 Q1	2021 Q2	2021 Q3	2021 Q4
France	27.1%	28.9%	+1.8ppt	28.3%	28.8%	29.0%	28.8%	29.0%
Italy	25.7%	26.7%	+0.9ppt	26.0%	26.2%	26.5%	26.9%	27.0%
Russia*	36.3%	36.7%	+0.4ppt	36.7%	36.7%	36.8%	36.7%	36.6%
Spain	26.7%	27.8%	+1.1ppt	27.4%	27.5%	27.7%	27.4%	28.6%
Taiwan	47.8%	48.1%	+0.3ppt	48.6%	48.1%	48.1%	48.0%	48.1%
Turkey	26.6%	27.7%	+1.1ppt	26.8%	27.5%	27.8%	27.7%	27.8%
UK	45.0%	45.8%	+0.8ppt	45.3%	45.4%	45.9%	46.1%	45.6%

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映しています。

*2021年Q1より、ロシアにおける市場シェアは、combustibles及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い、2020年データについても変更しています。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	543	570	545	490	2,148
	-0.5%	+15.7%	-2.8%	+8.1%	+4.7%
NCE	620	698	739	637	2,695
	+13.3%	+14.7%	+1.4%	-4.1%	+5.7%
CIS+	774	801	876	713	3,164
	+21.5%	+12.1%	+12.5%	+14.0%	+14.8%
RoW	1,331	1,286	1,160	1,186	4,963
	+17.1%	+16.7%	+10.8%	+9.6%	+13.6%
Total	3,268	3,355	3,321	3,025	12,969
	+14.0%	+15.0%	+6.6%	+7.1%	+10.6%

たばこ事業データ

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含みます。

・ドルベース					(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	2,866	2,918	3,116	2,824	11,724
数量差	+214	+246	+21	+73	+554
価格差/Mix	+187	+192	+184	+128	+690
2021 為替一定	3,268	3,355	3,321	3,025	12,969
FX	+16	+179	+220	+84	+499
2021	3,284	3,535	3,540	3,109	13,468

・円ベース					(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	3,120	3,140	3,304	2,943	12,508
Operations	+437	+471	+220	+221	+1,348
現地通貨 vs. 米ドル	+17	+193	+242	+83	+535
円 vs. 米ドル	-85	+68	+141	+306	+431
2021	3,490	3,873	3,906	3,553	14,821

8. 要因別 調整後営業利益実績

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、2021年度Q1から特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について一定の算定方法を用いて控除しています。また、ロードマップ上の為替影響には、従来の為替影響に加え、これらの影響も含みます。

・ドルベース					(百万ドル)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	956	1,025	949	252	3,181
数量差	+148	+163	+13	+34	+359
価格差/Mix	+182	+165	+180	+136	+663
その他	+22	-101	-40	+39	-80
2021 為替一定	1,308	1,251	1,102	461	4,123
FX	-50	-5	+66	+23	+34
2021	1,258	1,247	1,168	484	4,157

・円ベース					(億円)
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	1,041	1,103	1,005	261	3,409
Operations	+384	+244	+166	+221	+1,015
現地通貨 vs. 米ドル	-55	-5	+70	+24	+35
円 vs. 米ドル	-33	+24	+47	+48	+85
2021	1,336	1,366	1,288	554	4,544

9. 実績為替レート (前年同期比)

2021	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
USD/RUB	74.34 10.8%安	74.22 2.8%安	73.47 0.2%高	72.61 5.0%高	73.66 2.2%安
USD/GBP	0.73 7.8%高	0.72 12.5%高	0.73 6.9%高	0.74 2.1%高	0.73 7.3%高
USD/EUR	0.83 9.4%高	0.83 9.4%高	0.85 1.0%高	0.87 4.0%安	0.85 3.8%高
USD/CHF	0.90 7.1%高	0.91 5.7%高	0.92 0.3%高	0.92 1.9%安	0.91 2.8%高
USD/TWD	28.07 7.3%高	27.99 6.9%高	27.86 5.4%高	27.83 2.4%高	27.94 5.5%高
USD/TRY	7.37 17.2%安	8.37 18.0%安	8.53 15.5%安	11.08 29.0%安	8.84 20.7%安
USD/IRR	*	*	*	*	*
USD/JPY	106.09 2.5%高	109.52 1.8%安	110.11 3.7%安	113.71 8.8%安	109.90 2.9%安

現地通貨 vs USD増減率: (前年同期の現地通貨レート/各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率: (各期のレート/前年同期のレート) -1で算出

USD/IRRはEUR/IRR換算より算出

*超インフレ経済下にある子会社の財務諸表をUSDへ換算する際には、2020年12月末日及び2021年12月末日レートを用います。また、USDから日本円へ換算する際も同様のレートを用います。(2021年12月末日 USD/IRR: 247.776, USD/円: 115.02, 2020年12月末日 USD/IRR: 258,747, US/円: 103.50)

たばこ事業データ

10. Key markets

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映しています。

Italy

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Combustible industry volume	689	682	-1.0%
Cigarettes	617	611	-1.0%
Fine cut tobacco	71	71	-0.6%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	25.7%	26.7%	+0.9ppt	26.2%	26.5%	26.9%	27.0%
GFB SoM	20.8%	22.0%	+1.3ppt	21.5%	21.9%	22.3%	22.4%
Winston SoM	11.3%	13.3%	+2.0ppt	12.6%	13.1%	13.5%	13.9%
Camel SoM	9.5%	8.8%	-0.7ppt	8.9%	8.8%	8.8%	8.6%
Benson & Hedges SoM	3.7%	3.5%	-0.2ppt	3.6%	3.5%	3.4%	3.5%
JTI SoV	25.3%	26.2%	+0.9ppt	25.7%	26.1%	26.4%	26.6%

France

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Combustible industry volume	481	447	-7.0%
Cigarettes	358	335	-6.5%
Fine cut tobacco	123	113	-8.5%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	27.1%	28.9%	+1.8ppt	28.8%	29.0%	28.8%	29.0%
GFB SoM	22.6%	24.4%	+1.8ppt	24.4%	24.5%	24.3%	24.6%
Winston SoM	12.3%	13.5%	+1.3ppt	13.6%	13.7%	13.5%	13.4%
Camel SoM	10.4%	10.9%	+0.5ppt	10.8%	10.8%	10.8%	11.1%
Benson & Hedges SoM	1.6%	1.6%	+0.0ppt	1.6%	1.5%	1.6%	1.6%
Fleur de Pays SoM	2.6%	2.6%	+0.0ppt	2.6%	2.6%	2.6%	2.5%
JTI SoV	24.9%	26.8%	+1.9ppt	26.7%	26.9%	26.8%	26.8%

Spain

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Combustible industry volume	505	510	+1.2%
Cigarettes	408	415	+1.6%
Fine cut tobacco	97	96	-0.8%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	26.7%	27.8%	+1.1ppt	27.5%	27.7%	27.4%	28.6%
GFB SoM	24.5%	25.7%	+1.2ppt	25.7%	25.8%	25.1%	26.3%
Winston SoM	14.5%	14.9%	+0.3ppt	15.2%	15.0%	14.3%	15.0%
Camel SoM	10.0%	10.8%	+0.9ppt	10.6%	10.8%	10.8%	11.3%
JTI SoV	26.1%	27.4%	+1.2ppt	27.0%	27.2%	26.9%	28.3%

たばこ事業データ

UK

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Combustible industry volume	453	458	+1.0%
Cigarettes	244	239	-2.1%
Fine cut tobacco	209	219	+4.7%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	45.0%	45.8%	+0.8ppt	45.4%	45.9%	46.1%	45.6%
GFB SoM	0.1%	0.1%	-0.0ppt	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
Amber Leaf SoM	13.4%	12.5%	-0.9ppt	13.2%	12.7%	12.3%	11.9%
Sterling SoM	12.3%	13.6%	+1.4ppt	13.1%	13.6%	14.0%	14.0%
Benson & Hedges SoM	9.6%	10.0%	+0.5ppt	9.6%	10.0%	10.2%	10.2%
Silk Cut SoM	1.4%	1.3%	-0.1ppt	1.3%	1.3%	1.2%	1.2%
Mayfair SoM	2.2%	2.1%	-0.1ppt	2.1%	2.1%	2.1%	2.0%
JTI SoV	45.2%	45.9%	+0.8ppt	45.5%	46.0%	46.3%	45.9%

Russia*

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Total tobacco industry volume	2,234	2,171	-2.8%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	36.3%	36.7%	+0.4ppt	36.7%	36.8%	36.7%	36.6%
GFB SoM	23.7%	26.3%	+2.6ppt	25.1%	26.1%	26.8%	27.0%
Winston SoM	14.1%	12.6%	-1.5ppt	13.0%	13.0%	12.4%	12.1%
LD SoM	8.6%	8.6%	-0.0ppt	9.0%	8.9%	8.5%	8.0%
Peter 1 SoM	2.3%	1.8%	-0.5ppt	2.0%	1.9%	1.7%	1.6%
JTI SoV	37.3%	37.5%	+0.2ppt	37.2%	37.6%	37.7%	37.5%

*2021年Q1より、ロシアにおけるデータは、combustibles及びheated tobacco sticksを含みます。これに伴い、2020年データについても変更しています。

Turkey

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Combustible industry volume	1,154	1,285	+11.4%
Cigarettes	1,154	1,251	+8.4%
Fine cut tobacco	0	34	-

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	26.6%	27.7%	+1.1ppt	27.5%	27.8%	27.7%	27.8%
GFB SoM	24.0%	25.1%	+1.2ppt	25.0%	25.2%	25.2%	25.2%
Camel SoM	7.5%	6.9%	-0.5ppt	7.3%	7.1%	6.9%	6.6%
Winston SoM	13.4%	15.4%	+2.1ppt	14.7%	15.2%	15.5%	16.0%
LD SoM	3.1%	2.8%	-0.4ppt	2.9%	2.9%	2.7%	2.6%
Monte Carlo SoM	2.7%	2.6%	-0.1ppt	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%
JTI SoV	26.1%	26.7%	+0.6ppt	26.7%	26.8%	26.6%	26.7%

Taiwan

・Industry volume evolution (億本)

	FY2020	FY2021	Var.
Cigarette industry volume	297	294	-1.0%

・Share evolution

	FY2020	FY2021	Var.	Q1 2021	Q2 2021	Q3 2021	Q4 2021
JTI SoM	47.8%	48.1%	+0.3ppt	48.1%	48.1%	48.0%	48.1%
GFB SoM	39.8%	39.8%	+0.0ppt	39.5%	39.8%	40.0%	39.9%
Mevius SoM	18.4%	18.6%	+0.2ppt	18.6%	18.5%	18.7%	18.8%
Winston SoM	13.9%	13.7%	-0.1ppt	13.6%	13.8%	13.8%	13.7%
LD SoM	7.5%	7.4%	-0.0ppt	7.3%	7.5%	7.5%	7.5%
Mi-Ne SoM	3.5%	3.6%	+0.1ppt	3.7%	3.6%	3.5%	3.6%
JTI SoV	51.6%	52.3%	+0.7ppt	52.4%	52.3%	52.2%	52.4%

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2020 Q4	2021 Q4	増減	増減率	
Combustible総需要（自社推計）	1,149	1,053	-96	-8.4%	億本
Combustible販売数量	687	622	-65	-9.5%	億本

Combustible販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2020年Q4実績：18億本、2021年Q4実績：17億本）およびRRP販売数量を含んでいません

自社たばこ製品売上収益	5,157	5,198	+41	+0.8%	億円
調整後営業利益	1,681	1,824	+144	+8.6%	億円

2. Combustible販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	172	170	199	147	687
2021	149	160	181	132	622
前年同期比増減率	-13.3%	-5.7%	-9.0%	-10.0%	-9.5%

3. Combustible千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020	6,326	6,344	6,369	7,172	6,524
2021	7,155	7,174	7,134	7,425	7,211

千本当売上収益 = {販売定価代金-販売店マージン-消費税-たばこ税（国税）-たばこ税（地方税）-たばこ特別税（国税）} / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2021	10	11	12	13	46
RRP販売数量	147	146	170	136	598
RRP関連売上収益					

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2020	1,258	1,230	1,460	1,209	5,157
Combustible数量差	-145	-62	-114	-106	-425
Combustible単価差	+123	+133	+138	+33	+428
RRP/その他	+4	+21	+5	+9	+38
2021	1,241	1,322	1,489	1,146	5,198
調整後営業利益					
2020	432	386	572	291	1,681
Combustible数量差	-121	-51	-94	-90	-356
Combustible単価差	+123	+133	+138	+33	+428
RRP/その他	+45	+65	-8	-31	+72
2021	480	533	608	204	1,824

6. Combustibleシェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2020	59.7	60.1	60.2	59.0	59.8
2021	59.5	59.5	59.7	57.3	59.1
MEVIUS					
2020	28.9	28.8	28.9	27.4	28.6
2021	27.6	27.5	27.8	26.9	27.5
Winston					
2020	7.3	7.3	7.3	7.1	7.2
2021	7.1	7.1	7.1	6.7	7.0
Seven Stars					
2020	7.5	7.5	7.6	7.1	7.4
2021	7.4	7.3	7.5	7.1	7.3
Natural American Spirit					
2020	2.0	2.0	1.9	2.1	2.0
2021	2.1	2.1	2.0	2.2	2.1

(参考)たばこ事業データ
※2022年以降適用の新クラスター毎に再集計

2022年1月からのたばこ事業の事業運営体制の一本化に伴い、たばこ事業全体のクラスター*区分を見直し、日本市場を含め、新たにAsia（Japan + Asia Pacific）、WE（Western Europe）及びEMA（Eastern Europe + MENEAT + Americas）の3クラスターに再編しております。

*JTグループのたばこ事業をより深く理解していただくために、同事業を3地域（Asia, Western Europe, EMA）に区分けしたものです。なお、これらのクラスターは、JTグループの経営体制を反映したものではありません。

1. 新クラスター別構成 財務報告ベース*

（億本/億円）

2020年度Q3よりIAS第29号超インフレ会計の適用を開始したことに伴い、財務報告ベースの2021年度実績は超インフレ会計の影響を含みます。

2021	総販売数量	自社たばこ製品売上収益	調整後営業利益
Asia	1,332	7,922	2,799
WE	1,126	5,031	2,067
EMA	2,830	7,066	1,526
Total	5,288	20,020	6,392

*上記の自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、未監査の数値です。

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2022年2月14日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTE-052 (delgocitinib)	乳幼児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	Phase3 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
				Phase2 (海外)		
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /外用	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (国内)	自社品	
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-861	慢性心不全 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するビルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、心機能を改善する	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-061 (Tapinarof)	アトピー性皮膚炎 /外用	AhR モジュレーター	アリル炭化水素受容体 (AhR) を活性化 し、皮膚の炎症を抑制する	Phase3 (国内)	導入品	・ Dermavant Sciences GmbH社から導入 ・ 鳥居薬品と共同開発
	尋常性乾癬 /外用			Phase3 (国内)		
	小児アトピー性皮膚炎 /外用			Phase2 (国内)		

(※) 開発段階の表記は投薬開始を基準としています。

(※) 掲載以外に、将来の剤型追加の可能性を検討するための臨床試験を行っています。

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2021年10月29日)からの変更点

・ JTE-061 (小児アトピー性皮膚炎/外用) :国内 Phase2開始

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース調整後営業利益（全社）	海外たばこ事業における四半期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
Global Flagship Brands (GFB)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量（海外たばこ事業）	水たばこ/E-Vapor 製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益（海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	四半期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計）。RRP やリトルシガー等を含む。
Combustible 総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における combustibles の本数ベースの市場規模（自社推計）。リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における RRP の本数ベース（1 パック当たり RMC 20 本として換算）の市場規模（自社推計）。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
Combustible 販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT combustibles の販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり RMC 20 本として換算）。デバイス/関連アクセサリー等は含まない
リトルシガー（国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、RMC と同様の形態に巻き上げた製品。たばこ事業法上、「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益（国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益（国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリー等を含む RRP の売上（国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現金 + 短期保有の有価証券 + 現金
有利子負債	有利子負債 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 - 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響、その他 - 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門4-1-1

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com